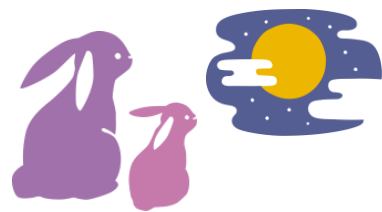


# 図書館の窓から

浜田高校図書館  
H30.9.18 発行  
30-6号



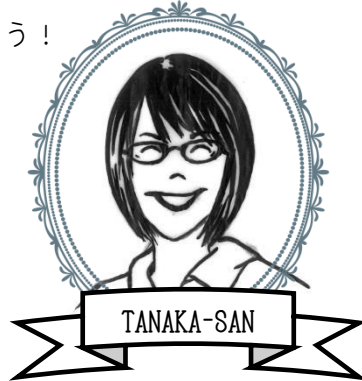
陰暦9月の異名として有名なのは長月（ながつき）ですが、他にも菊月（きくづき）、色取月（いろどりづき）、夜長月（よながつき）、紅葉月（もみじづき）、小田刈月（おだかりづき）などの呼び方があるようです。長月・夜長月は「秋の夜長」から、色取月は木の葉が色づくことから、小田刈月は稲刈りの季節であることから…といったように、いずれもその名の由来に季節を感じます。今では序数を用いた、風情とは程遠い呼び名が定着していますが、その方が合理的ではありませんよね。それでも昔の日本には、月を現す言葉がこんなにあったのだということを忘れてはいけないものです。…さて、10月にはどんな異名があるでしょうか。気になった人は図書館まで！



## 浜高の先輩・田中輝美さんを知ろう！

10月10日(水)のHIRAKUの時間に、浜高卒業生でローカルジャーナリストの田中輝美さんの講演会が行われます。田中さんってどんな方なのでしょう？講演会の前に少し知っておきましょう！

- ◆田中輝美（たなか・てるみ）さん◆
- ・平成7年 浜田高校普通科卒業（第46期）
- ・大阪大学文学部卒業
- ・元山陰中央新報記者



## 田中さんを知るためのキーワード

### Keyword① ローカルジャーナリスト

田中さんは大阪大学文学部を卒業後、山陰中央新報社に記者として入社されました。その後、山陰中央新報社を退社してフリーに。現在は島根県を拠点に、「地域に暮らしながら地域のニュースを外に発信・記録する」\*ローカルジャーナリストとして活動しておられます。

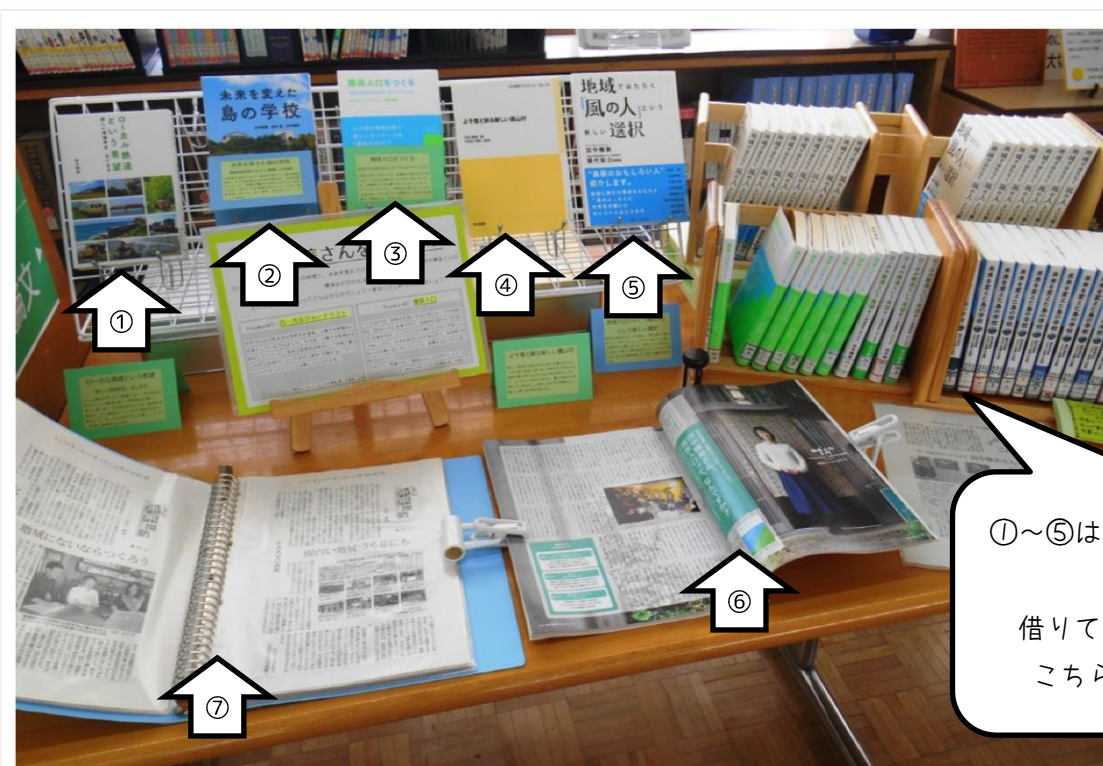
\*『関係人口をつくる』田中輝美/著、木楽舎 p.9

### Keyword② 関係人口

—これまでは、地域を元気にするためには、その地域に住む『定住人口』を増やすか、短期的に訪れる『交流人口』を増やすか、ということが大事だとされてきました。(中略)しかし、日本全体の人口が減る中で、地域間で定住人口の奪い合いをしていますが、疲弊するだけだと思いませんか？—  
→さて、問題です。「関係人口」とは何でしょう？上記をヒントに考えて見ましょう。

\*『関係人口をつくる』田中輝美/著、木楽舎 p.7

田中さんの著作など 図書館内にある田中さんの特設コーナーを覗いてみましょう！



①～⑤は浜高の蔵書に加えて、他の高校から借りてきた本があります。こちらも貸出可能です！

### ①『ローカル鉄道という希望 新しい地域再生、はじまる』(河出書房新社、2016)

実は「乗り鉄」でもある田中さんは、島根県を通るローカル鉄道の一つ、JR木次線を守るべく奔走しています。そんな田中さんが描く、ローカル鉄道と地域再生の展望。

### ②『未来を変えた島の学校 隠岐島前発ふるさと再興への挑戦』(岩波書店、2015)

生徒数の減少により、廃校寸前だった隠岐島前高校。今では全国から生徒が集まる、注目の高校です。学校の魅力化を考える中で、先生や生徒、島の人々の意識も変わっていきました。島前地域(海士町、西ノ島町、知夫村)の、人づくりの物語。(※前海士町長の山内道雄さん、教育魅力化コーディネーターの岩本悠さんとの共著です)

### ③『関係人口をつくる 定住でも交流でもないローカルイノベーション』(木楽舎、2017)

(⇒左欄「Keyword②」の問いの答え) どこに住んでいても、島根を応援することはできるはず！そう気づいた瞬間から、あなたも島根の「関係人口」なのです。

### ④『よそ者と創る新しい農山村』(筑波書房、2017)

俗に、地域を活性化するために必要なものは、「よそ者・若者・ばか者」だと言われます。島根の農山村にはどんな「よそ者」が移住してきているのでしょうか。江津市と海士町の事例から、新しい農山村の姿を考えます。

### ⑤『地域ではたらく「風の人」という新しい選択』(ハーベスト出版、2015)

都市と地方をまたいで活動し、「風を運び、風を起こし、去っていく」、それが「風の人」。彼らは島根でも活動していて、定住している私たちにはない、新しい視点をもたらしてくれます。

### ⑥雑誌「ソトコト」2018年2月号

この号の特集はズバリ「関係人口入門」。特集に先立ち、田中さんが関係人口について易しく説明されています。

### ⑦山陰中央新報の連載記事「しまね未来探訪」

2015年4月から毎月最終金曜日に連載中。8/31(金)で連載41回を迎えました。島根で未来に向けてチャレンジしている人たちを知るきっかけとして、手にとってみてください。こんなに熱く活躍している人たちがいるのです！

【進路・受験に関する本】

**498『臨床検査技師になるには』** 岩間靖典/著
**699『放送作家という生き方』** 村上卓史/監修

【報道】
**070『ファクトチェックとは何か』** 立岩陽一郎、楊井人文/著
★情報の真偽を確かめるための有効なツール「ファクトチェック」。フェイクニュースのあふれる現代におけるファクトチェックのあり方を解説。

【島根に関する本】
**092『島根県の合戦』**
★島根県で繰り返された、中世から戊辰までの合戦の記録。
**093.7『人口減少社会と高校魅力化プロジェクト』** 樋田大二郎/ほか著
★表面で紹介した「よそ者・若者・ばか者」を育てる高校魅力化事業に指定された、島根県の高校の取り組みを紹介。

【哲学】
**130『毎日使える、必ず役立つ哲学』** マーカス・ウィークス/著
★「失恋から立ち直れない」「死ぬのが怖い」などの悩み事について、ニーチェやソクラテスなどの哲学者たちが答える。

【心理学】
**140『毎日使える、必ず役立つ心理学』** サラ・トムリー/著
★こちらはフロイトやユングなど、心理学者によるアドバイス。「自分がどんな人なのか」「どうしてこんな行動をしてしまうのか」などの問いに答える。

【日本史】
**210.4『中世の古文書入門』** 小島道裕/著
★くずし字が読めなくても大丈夫。古文書の楽しみ方のポイントを紹介。

【社会科学】
**304『少数異見』** 水谷修/著
★政治や経済、地方の衰退、差別と区別、子どもたちの貧困…。日本が直面している社会問題を通して、「考える力」の磨き方を「夜回り先生」が解説。

【民族問題】
**316『イランカラプテ アイヌ民族を知っていますか?』** 秋辺日出男/ほか」著
★アイヌ民族の代表者 8 人が先住権、歴史

認識、文化伝承、民族差別などの問題について自身の体験から語る講演集。

【経済】
**333『未来を変える目標 SDGs アイデアブック』** Think the Earth/編著
★SDGs(持続可能な開発目標)についてわかりやすく学べる本。国連で決まった 17 個の目標と「未来を変えたアイデア」を解説。

【社会学】
**※361『データの罠 世論はこうしてつくられる』** 田村秀/著
★視聴率から経済波及効果、都市ランキング、出口調査まで、さまざまなデータを検証することで、データの罠を見抜き、正しい情報の読みとり方を提案する。

【青少年問題】
**※367『若者はなぜ「決めつける」のか』** 長山靖生/著
★若者がまともな仕事に就けず、選択肢もないのに全てを「自己責任」とされる、理不尽な時代の背景にあるものを探る。

【児童福祉】
**※369『ルボ保育崩壊』** 小林美希/著
★時間に追われて疲弊する子どもたち、そして保育士。厳しい現状を描き出し、「保育の質」の低下に警鐘を鳴らす。
**※369『ルボ保育格差』** 小林美希/著
★園の中でどのような保育が行われているのか。園によって大きな違いがあるのはなぜなのか。保育格差の実態に迫る。

【難民問題】
**369『世界の難民をたずける 30 の方法』** 滝澤三郎/編著
★難民生活の実際や当事者の声を通じて難民問題を理解し、支援のために必要なことを考える。

【教育】
**※370『学力と階層』** 荻谷剛彦/著
★教育費の支出額の違いが子どもたちにもたらす決定的な差について警鐘を鳴らす。

**※370『偏差値好きな教育“後進国”ニッポン』** 池上彰、増田ユリヤ/著
★時代の変化に応じて求められる教育の姿を、海外の現場から探り、次世代の教育のありようを考える。
**375『検証迷走する英語入試』** 南風原朝和/編
★英語民間試験を大学入試に導入するこ



・数字は本の背ラベルにある分類番号です

・♪はリクエストされた本です

・※は寄贈していただいた本です

【植物】
**♪473『粘菌生活のススメ』** 新井文彦/著
★粘菌の基本的な生態を解説するとともに、北海道や東北各地で撮影された写真を掲載。
【医療】
**※498『持続可能な医療』** 広井良典/著
★医療費の破綻回避できるのか? 持続可能な医療そして社会を構想するための道筋を示す。

【昔話】
**388『こんにちは、昔話です』** 小澤俊夫/著
★昔話はどうやって伝えられてきたのか、何を語っているのかなど、昔話の基本的なこと、大切なことをテーマ別に詳しく解説。
**388『図説絵とあらすじでわかる!日本の昔話』** 徳田和夫/監修
★時を超えて、物語が本当に伝えたかったこととは何か。広く知られた昔話を中心に取り上げて解説。

**388『安芸・備後の民話 1・2』** 垣内稔/編
★安芸・備後に古くから伝わる民話を広島周辺、芸南地方、内海地方の3つの地域に分けて収録。
【自然科学】
**※404『科学の限界』** 池内了/著
★原子力エネルギーの利用に警鐘を鳴らしてきた著者が、3・11 以後における科学の倫理を問い直す。

【料理】
**596『かんたん!ヘルシー!魚の缶詰レシピ』** キッチンさかな/著
★たんぱく質、アミノ酸、オメガ3 脂肪酸、カルシウムが豊富で低糖質な魚の缶詰を使ったレシピを紹介。

～\*～ シリーズ最新刊入りました ～\*～

**※913『浜村渚の計算ノート 8と1/2 さつめ』** 青柳碧人/著
**※913『心霊探偵八雲 ANOTHER FILES 嘆きの人形』** 神永学/著
**913『岳飛伝 13～17【完】』** 北方謙三/著
**913『昔話法廷 Season3』** NHK Eテレ「昔話法廷」制作班/編
**※913『活版印刷三日月堂 4』** ほしおさなえ/著
**※913『吉野北高校図書委員会 3』** 山本渚/著
**932『シェイクスピア全集 11 ペリクリーズ/12 タイタス・アンドロニカス』** シェイクスピア/著

【産業】
**※601『実践!田舎力』** 金丸弘美/著
★六次産業化、着地型観光など、近年注目の戦略を中心に、持続可能なまちを自らつくりだすポイントを紹介。

【林業】
**652『森と日本人の 1500 年』** 田中淳夫/著
★今ある緑は、どんな経緯を経て生まれたか。森林景観に人はどのように関わってきたか。現代につながる日本の森と人の歩みを 1500 年にわたってたどる。

【交通】
**※681『地域再生の戦略』** 宇都宮浄人/著
★中心市街地の空洞化、路線バスの廃止が進み、衰退が加速する地方を復活させる鍵は「公共交通」の見直し。「交通まちづくり」というアプローチを紹介。

【音楽】
**763『部活で吹奏楽ホルン上達 BOOK』** 須山芳博/監修
**763『部活で吹奏楽クラリネット上達 BOOK』** 加藤純子/監修
★演奏者としてより高みを目指したい人へ。

【声優】
**778『いつかすべてが君の力になる』** 梶裕貴/著
★「進撃の巨人」「七つの大罪」など、多数の話題作でメインキャストを務める声が、「夢」を仕事にする方法を伝える。

【スポーツ】
**780『パラスポーツルールブック』** 陶山哲夫/監修
★パラリンピックを 100 倍楽しめるよう、障がい者スポーツのルールやクラス分けを、イラストとともに紹介。

【言語】
**811『正書法のない日本語』** 今野真二/著
★「万葉集」以来ずっとあった書き方の多様性。日本語の歴史を視野に入れながら、「正書法がない」ということを、さまざまな観点から考察する。

**837『ネイティブが感動する英語にない日本語』** フォークルック幹治/著
★バイリンガルである著者の経験を踏まえて「英語にない日本語」を取り上げ、「無理やり英訳したらどのような文章になる

のか」を紹介。

【日本の小説】
**※913『猫を拾いに』** 川上弘美/著
★いろんな色の恋がある。小さな人や地球外生物、そして怨霊も現れる。心がふるえる短篇小説集。
**913『放課後ひとり同盟』** 小嶋陽太郎/著
★クラスでひと際目立つ原田の存在が私を悩ませる…。学校を舞台に 10 代特有の衝動を描く青春連作短編集。

**913『ファーストラヴ』** 島本理生/著
★多摩川沿いを血まみれで歩いていた女子大生・環菜。彼女は、父親を、その勤務先である美術学校で刺殺したとして逮捕されるが…。【直木賞】
**※913『後宮の烏』** 白川紺子/著
★「鳥妃」と呼ばれる特別な妃は、不思議な術を使い、呪殺から失せ物さがしまで、何でも引き受けてくれる。しかし、その正体が暴かれるとき、禁忌に触れることに…。
**913『送り火』** 高橋弘希/著
★東京から山間の町に引越した中学 3 年生の歩。級友とも、うまくやってきたはずだった。あの夏、河へ火を流す日までは…。【芥川賞】

**※913『ピンポンラバー』** 谷山走太/著
★卓球エリートたちが集まる私立卓越学園に、挫折から再起したかつての天才卓球少年が入学。その目的は、小学生時代に唯一敗北を喫した少女を見つけ出し、勝利することだった。

**913『疾風の女子マネ!』** まはら三桃/著
★“いい男狙い”で運動部マネージャーを志望した咲良。そんな彼女が、ある男子の走る姿に目を奪われ、陸上部に入部する。ひとめぼれした彼はリレー選手だった。
**913『ブロードキャスト』** 湊かなえ/著
★陸上の名門・青海学院高校に入学した圭祐だったが、中学の同級生に誘われ放送部に入部することに。陸上への未練を感じつつも、その面白さに目覚めていき…。
**※913『サイレント・プレス』** 南杏子/著

★在宅で「最期」を迎える患者専門のクリニックへの“左遷”を命じられた倫子。やがて、人生の最後の日々を穏やかに送る手助けをする医療の大切さに気づいていく。
**※913『つながりの蔵』** 柳月美智子/著
★幽霊屋敷という噂の、古い蔵がある四葉の家で、遼子と美音は放課後よく遊ぶようになった。小学校 5 年生の少女たちは、それぞれの心に“哀しみ”を抱えていて…。